

データサイエンスが拓く未来 ～リテラシーレベルの先へ

データサイエンスがどのような価値を生み出すのか!? 教育界・産業界それぞれの立場からお話を伺い、
これからのデータ社会において求められる人材像を描きます。

2023年 **1**月**28**日(土) 10:00~11:30

<会場>

対面⇒昭和女子大学 8号館 6階コスモスホール

オンライン⇒zoom ウェビナー

参加無料/要申込/ 対面定員 **100**名(先着順)

オンライン定員 **300**名(先着順)

第1部 基調講演

南 美穂子 氏(慶應義塾大学理工学部数理科学科 教授)

小野 陽子 氏

(横浜市立大学データサイエンス学部データサイエンス学科 准教授)

第2部 パネルディスカッション

南 美穂子 氏

小野 陽子 氏

大石 善啓 氏(三菱総合研究所顧問)

*モデレーター：井原 奉明(昭和女子大学 副学長)

司会：井原 奉明 (昭和女子大学 副学長)

<お申込み>

下記お申込みフォームまたは QR コードから

1月27日(金)までにお申し込みください。

<https://forms.gle/QeC4NPNUECfpbYZr7>



登壇者の紹介

■南 美穂子 (みなみ みほこ) 氏

慶應義塾大学理工学部数理科学科 教授

お茶の水女子大学理学部数学科を1982年に卒業、日本ユニバック(株)でOR・統計関連ソフト担当のシステムエンジニアとして勤務の後、カリフォルニア大学サンディエゴ校数学科にてPh.D.を取得。東京理科大学助手、大学共同利用機関法人統計数理研究所・総合研究大学院大学の准教授を経て2009年4月より現職。



■小野 陽子 (おの ようこ) 氏

横浜市立大学データサイエンス学部データサイエンス学科 准教授

東京理科大学工学研究科経営工学専攻博士課程修了後、東京理科大学工学部助手、島根県立大学総合政策学部講師、新潟国際情報大学准教授を経て、2011年から横浜市立大学准教授。博士(工学)。ひとの意識のずれ(例:抽象数学定理自動証明システムの構築、授業満足度と個人主観など)や、データサイエンス倫理と多様性を研究。2018年度よりWiDS TOKYO@Yokohama City University(Women in Data Science)アンバサダーとして、データからストーリーを紡ぐ多様な人材をこの分野に誘う取り組みを行なっている。



■大石 善啓 (おおいし よしひろ) 氏

三菱総合研究所顧問

京都大学大学院工学研究科修士課程修了、工学博士(京都大学)。1982年に三菱重工業株式会社入社し、研究開発、技術企画に従事、2016年に執行役員フェロー。2010~2013年には内閣府大臣官房審議官(科学技術政策担当)を務める。2016年10月から株式会社三菱総合研究所常務研究理事、シンクタンク部門長を経て2021年12月から同社顧問を務めている。



プログラム

10:00~10:05 開会挨拶 坂東 眞理子(昭和女子大学理事長・総長)

10:05~10:25 基調講演 1 南 美穂子氏(慶應義塾大学 教授)

10:25~10:45 基調講演 2 小野 陽子氏(横浜市立大学 准教授)

10:45~10:50 質疑応答

10:50~11:25 パネルディスカッション(質疑応答含む)

11:25~11:30 閉会挨拶 小原 奈津子(昭和女子大学学長)